

いわて

from純情産地 ~JAいわてグループ 今月の推し~
おすすめ農畜産物と農家さんをご紹介

コレ推し

2022.12 牛乳 | Volume.6

今月のJA JAいわて平泉

“大地のめぐみを未来へつなぐ 黄金の郷づくり”
JAいわて平泉は一関市と平泉町の1市1町をエリアとし、米、野菜、果樹、花、畜産など多種多様な農畜産物を生産。「農」を通じた活動を通して、地域に暮らす全ての人々が共に生きる地域農業の姿を目指しています。



ホームページはこちら

今月のコレ推し 牛乳

JAいわて平泉では牛の健康管理はもちろん、生産にかかわる器具の洗浄、点検・交換の定期的な実施で何より「安全・安心」を心がけています。生産者が参加する講習会や情報交換も積極的に行い、産地一丸となって乳質向上に努めています。生乳100%をパック詰めしたおいしい牛乳が好評です。



「おいしい」は
牛との信頼関係から

今月の農家さん JAいわて平泉 イタバシファーム 尾形 幸希さん・元希さん



信頼関係を築いて牛の健康を守る

気仙沼街道から南東方向へ車を走らせること10分。牧草地に囲まれた丘陵地に尾形さん宅・イタバシファームがある。早朝の清掃が済んだ2棟の牛舎からは餌をねだる約60頭の牛たちの元気な鳴き声が響く。この春就農したばかりの弟の元希さんは、目覚めたら朝食もとらず牛舎に直行し餌やりを最優先しているという。「搾乳中の牛、分娩を控えた牛、子牛それぞれに、また体調に合わせた餌を与えます」。兄の幸希さんは「掃除や餌やりなどの作業は牛に声をかけながら“定刻”に行っています。人間もお腹がすくとイライラするでしょう？牛も同じなんです」と語った。牛たちにストレスをかけないよ

う努め、信頼関係を築くことを大切にしている。

また飲みたいと思ってもらえるおいしさを

約25haの広大な農地で収穫した牧草を牛たちが食べ、その堆肥を使用した元気な土で高品質な牧草をまた育てる。父の誠さんを含め家族が力を合わせた絶妙なコンビネーションで循環型酪農を実践している。

「資材の高騰など状況は厳しいけれど、なんとか乗り切りたい。飲んだ人がまた飲みたいと自然に思ってもらえるようなおいしい牛乳をお届けしたいです」と幸希さん。「酪農は楽しい」と語る元希さんとともに熱意を持って酪農に取り組んでいる。



いわてコレ推しは動画でもご覧いただけます

JAいわてグループ公式YouTubeチャンネル



農家さんの推しの一品

パックを使って簡単に

牛乳寒天

幸希さんは「インスタントコーヒーを少なめに入れたホットミルク」、元希さんは「プロテインを入れ良質たんぱく質をたっぷりとする」のが好きとのこと。また、牛乳にゼラチンと砂糖と練乳を入れ煮溶かし、粗熱をとってお好みのフルーツと牛乳パックに流し込み、冷やし固める「牛乳寒天」も推しの一品。



JAいわて平泉から「いわて南牛もも肉スライス(すき焼き用) 約500g入(1箱)」を抽選で2名様にプレゼント!

●郵便はがきに、氏名、住所、電話番号、年齢、職業、ご希望配達時間帯、JAに対するご意見・ご提案などをご記入の上、下記までお送りください。当選は発送をもってかえさせていただきます(令和5年1月中旬に配達いたします)。

●締切日:令和4年12月25日(日)当日消印有効

●応募先:〒020-8799 日本郵便(株)盛岡中央郵便局留

JA岩手県中央会 JA支援部「プレゼントキャンペーン」係

※ご応募いただいた個人情報は商品発送以外には使用いたしません。 ※写真はイメージです。



020-8799

日本郵便(株)
盛岡中央郵便局留
JA岩手県中央会 JA支援部
「プレゼントキャンペーン」係

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- 年齢
- 職業
- ご希望配達時間帯

JAに対するご意見・ご提案などをご記入ください

耕そう、大地と地域の未来。

JAいわてグループ

〒020-0022 盛岡市大通一丁目2-1 JA岩手県中央会 JA支援部
TEL.019-626-8519



www.jaiwate.or.jp